

2020（令和2）年度

生活介護事業所
みゆき広場
事業報告

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

社会福祉法人 歓びの園

はじめに

理事長 生藤章洋

令和2年度当初より新型コロナウイルスの感染が全国的に広がり、一連の事業計画に基づいた行事や活動を、変更及び自粛せざるを得ない状態が現在も続いています。利用者の皆様には今まで通りの行事や活動が何故できないかを、その都度職員が丁寧に説明をしていますが、活動の制限にかなりストレスを感じている模様です。施設整備では感染予防にパーティション、体温計、アルコール、マスク、保護メガネ、フェイスシールドの整備を行ってまいりました。特に感染を警戒する昼食時には、パーティションで区切った個別スペースで食べていただき、職員の食事は利用者の食事介助終了後に時間差で食べてもらっています。歯磨き時には職員が保護メガネをかけ、手袋を着用して支援を行っています。また、県の補助金を活用し ICT 環境を整備いたしました。リモート会議を行ったり、記録や情報の共有を図ることができています。

感染防止の対応に当たっては、新型コロナウイルスについての正しい認識を持つために、新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（職場編）eラーニングを受講してもらうとともに、感染対策マニュアル等を通して、基本的な感染症対策を含めた共通理解を深めながら、今後も感染防止に努めてまいります。

＜2020 年度みゆき広場利用状況＞

◇出欠状況(延べ人数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	通所日(日)	23	20	24	23	19	22	24	21	21	19	20	24	260
	利用延人数(人)	558	518	675	632	548	623	686	601	565	513	578	694	7191
	平均利用率(人)	24.2	25.9	28.1	27.4	28.8	28.3	28.5	28.6	26.9	27	28.9	28.9	27.6

*2020年度:通所日260日, 利用延べ人数7,191人, 平均利用率27.6人

◇年代別

(人)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
女性	0	3	1	4	1	1	10
男性	1	4	1	14	2	0	22
合計	1	7	2	18	3	1	32

◇障害支援区分

(人)

区分	2	3	4	5	6	合計
女性	0	0	0	3	7	10
男性	0	0	2	2	18	22
合計	0	0	2	5	25	32

2021年3月31日現在(実利用者)

【週間カリキュラム別状況】

《手作り》

- ・今年度の目標 それぞれが新しい技術の習得を目指し、製品の質の向上を目指す。イベント毎の出店で売れ筋商品を把握し作り進め収入を増やす。順調に販売を続けている雑巾は、引き続き丁寧な仕上げを目指し使い心地の良い喜ばれる製品の制作を目指していく。動物を形取ったランチョンマットやコースターも種類を増やし継続して販売していきたい。猫のクッションも新製品として売り出す予定。前年度から販売開始した『フクロウの置き物』も売れ筋商品になっている為、製作量を増やしていきたい。昨年6月から広島県立歴史博物館内のショップにてみゆき広場製品を販売しており、毎月安定した売り上げができている為、製品の種類、納品量を増やしていきたい。今年度も引き続き、新たな製品の開発にも力を入れていきたい。
- ・実施場所 新館、食堂
- ・実施日と時間 月・火曜日／10：00～11：30・月・火・水曜日／13：00～14：30
- ・目的 制作する喜びを味わい、製品を販売して社会参加をする。
- ・内容 布製品の小物入れやバックの製作、糸の織物、髪飾りづくり、ビーズでブレスレットなどのアクセサリ製品等の制作、事業所内使用及び販売用の雑巾の製作、動物を形取ったランチョンマットやコースターの製作、今年度販売開始のフクロウの置き物の製作を行う。
- ・全体の評価 今年度、新型コロナウイルス感染拡大防止によりイベント中止が続いた。それにより手作り品販売で製品販売の機会が無くなり製品については積極的製作が出来なかった。彩フェスタにおいてははりム福山の営業終了になった為今後のイベント開催は期待できない状況である。2019年6月からのTLSFとの契約の広島県立歴史博物館内のショップでのみゆき広場製品の販売は順調に続いており、各イベント販売が無くなった分、大きな販売ルートとして力を入れている。毎月安定した販売が見込まれショップの在庫切れの連絡が入るほどであった。2021年1月2日～3月14日に広島県立歴史博物館で開催される『中世ものづくり企画展』を盛り上げる為の依頼を受け、製品の出品種類を増やし『猫シリーズ』に加え新作にも取り組んだ。また、TLSFから話を頂き今年度2020年5月より福山すこやかセンター内にある販売ショップ「彩プラザ」、でも製品の販売を開始できた。製品については、これら新たな販売ルートに向ける製品製作に合わせ、販売用雑巾の制作も継続して行っている。
その他、製品製作が減少した分、みゆき広場内で使用する雑巾の制作に取り組んだ。利用者の作業技術は順調に向上している。個別スペースの活用や作業配置の工夫で集中力を継続させ作業量や丁寧さも上がっている。縫製作業、ビーズ作業ともに利用者それぞれの技術に合った治具を作成、活用することで、より高度で丁寧な仕上がりを目指せた。

《和紙作り》

- ・今年度の目標 それぞれが作業分担を行い1つの製品が完成するまでに多くの利用者が作業にかかわ

れるようにしていく。製品加工数を少しずつのぼし季節に応じた商品など量産し利用者の工賃アップにつなげていく。製品の加工数を少しずつのぼし季節に応じた商品などを量産し利用者の工賃アップにつなげていく。製品の丁寧な作成に心がけ完成度の高いものが販売できるようにしていく。地域の人とのつながりを大切にするを視野に入れて地域行事等へ積極的に参加し和紙製品を手にとってもらえる機会を増やしていく。

- ・実施場所 作業場1
- ・実施日と時間 月・金曜日／10：00～11：30
- ・目的 牛乳パックを使った和紙製品作りを通して、機能訓練、社会参加をはかる。
- ・内容 牛乳パックを利用して和紙つくりと、製品作りを行っていく。牛乳パックから製品を作る過程の中で1つでも多くの工程に参加してもらい製品が完成したことの達成感をもってもらう。紙の細かい繊維等にふれることで本人の持つ感覚を刺激する。
- ・全体の評価 和紙作りの作業では各利用者にあった工程に分かれて、牛乳パックのラベル剥がし、紙ちぎりの行程、牛乳パック切り、和紙すきなど様々な行程があるが、新型コロナウイルス感染症の対策で室内の換気、手洗い、アルコールでの消毒や、人同士が密にならない様に今まで以上に広く場所をとった配置で行っている。また、他の対策の準備の点から、作業時間の縮小により製品の生産量も少しではあるが減ってきている。販売の方は今まで販売していた各種イベント（ふれあい広場、みゆきフェスタ、彩フェスタ、施設の夏祭り）等が中止になり販売機会も少なくなっている。現在は広島県立歴史博物館と福山すこやかセンターにて製品を置かせてもらって販売場所を確保する事ができ、少しずつではあるが売り上げにつながってきている。

《音楽》

- ・今年度の目標 全員が一体となって活動を行える環境を作り、音楽を通して表現力を身につける。音を聴き、「他の人と音を合わせる」ことを意識する。自分なりの表現を見出し、楽しみ方を見つける。金曜日の音楽では、忘年会クリスマス会での発表の場を想定し、曲選び、曲の構成、衣装選び、練習などに主体的に取り組めるようになる。自分の役割を果たし、メンバーである自覚を持つ。
- ・実施場所 作業場1
- ・実施日と時間 火・金曜日／13：00～14：00
- ・目的 音楽と触れることで心身に快い刺激を与え、情緒の回復や安定、リフレッシュを図る。楽器に触れる、発声をする、ダンスをする等いろんな表現で音楽を楽しむ。
- ・内容 曲に合わせて手や体を動かしリズムを体感する。リズムに合わせて、様々な楽器を鳴らす。音楽鑑賞・カラオケ等音楽を使ったレクリエーションも行っていく。
- ・全体の評価 感染症予防として、十分な距離をとって座るようにし、他の人とのハイタッチはしないなどの対策をして、音楽活動に取り組んだ。火曜日は音楽療法を中心に取り組んできた。飽きないように、いろいろな音楽を聴いて鈴やタンバリンを鳴らした。また「今月の歌」を月初めに決めて、1か月間はその曲をじっくり聴くという取り組みも行った。

金曜日のメンバーは、毎年、行事の中でステージ発表をしていたが、今年は事前にステージ発表を録画し、DVDにして披露した。ハンドベル、ダンス、合奏で構成し、練習と撮影に取り組んだ。出来上がったDVDを鑑賞した際には、利用者も職員も家族もとても喜んでいて。カラオケは飛沫を予防するため、回数は減らし、マイクにはビニール袋をつけ、歌う人と見る人の間は距離を十分にとるようにした。感染予防のため、活動内容が以前とは大きく異なることもあったが、予防しながらできることをみんなで考え、楽しく取り組むことができた。

《ガーデニング》

- ・今年度の目標 各利用者それぞれに何らかの役割をもって作業に関わることにより自然と親しむ経験を増やしていく。そして、水やりや草取りが必要な時期はジョロを使用し水やりをしたり、草削りを使って草取りをするなど、カリキュラムメンバーとしての役割を果たしていく。四季に応じた野菜や、人気のある野菜の栽培への挑戦を行っていき、今後も利用者の工賃アップにつなげていく。また、収穫した野菜の調理方法や使い方の幅を広げていく。その他、季節をかんじられる場所（農園、公園）などにでかけ気分転換をはかっていく。
- ・実施場所 作業場1、食堂、新館、みゆき広場の畑
- ・実施日と時間 月・水曜日／13：00～14：30・木曜日／10：00～11：30
- ・目的 園芸をとおして気持ちを穏やかにして暮らしの楽しみをひろげる。自ら土づくりから行い、野菜の栽培、収穫を通し、食の大切さを学んでいく。
- ・内容 園芸をとおして気持ちを穏やかにして暮らしの楽しみをひろげる。自ら土づくりから行い、野菜の栽培、収穫を通し、食の大切さを学んでいく。
- ・全体の評価 利用者のすべてが、なんらかの作業に必ず参加できるように支援を行うことができた。水やりは、ジョロを使用して草取りは鎌や、それが難しい利用者は手動にて行った。その他、みんなで話し合いの機会をもうけて栽培したい野菜をきめて実行した。職員より寄付のあった梅を使用し新たに、しそのふりかけや、梅干しづくりに挑戦し大好評であった。その他、毎年人気の大根の漬物や、切り干し大根の作成も行った。（梅干しづくりも本やネットにてやり方を調べておこなった。）新型コロナの影響をうけて野菜を売る機会が以前にくらべ減少。職員や利用者家族への販売はお知らせ等を出すことにて行った。季節をかんじられる場所（農園、公園）等への外出は新型コロナ対策を講じて（三密を防いでの乗車、車内の換気、アルコール消毒の持参、マスク着用など）人が密集しないであろう場所に少しずつ様子をみながら外出を行った。

《創作》

- ・今年度の目標 新たな素材を模索して、作品作りに取り入れる。既存技法の応用、新たな技法を使った作品作り。曜日ごとでの全体作品、個人作品、全体作品作り。広島市ピースアートプログラムアート・ルネッサンス 2021 への出展。
- ・実施場所 作業場1、作業場2、新館

- ・実施日と時間 水曜日／10：00～11：30・火・金曜日／13：00～14：30
- ・目的 同じ目標にむかい、協力して作品を作り上げる。絵を描く楽しみや、作品を作り上げた後の達成感などをもってもらう。
- ・内容 出展作品、応募作品作り、行事で使用する飾り作り、ふれあい広場でみんなにみてもらう作品作りなど、個人作品制作と共に全体作品の取り組みを強化していく。
- ・全体の評価 火曜日創作では、松ぼっくりを使った全体作品で「ワニ」を制作した。松ぼっくりは山に取りに行き、自然の物を使った作品を仕上げる事が出来た。水曜日創作では、主に行事で使用する看板や飾り作りを行ってきた。また、作った作品で遊びたい！という思いから、現在「みゆきカルタ」を作成中。金曜日創作では、全体作品でキリン作りを行っており、完成が間近となっている。個人作品作りでは、2021年アートルネッサンス出展。ペースの違いから、来年出展予定の作品もある。また、12月の障害者週間にも個人作品を出展している。ダイハツアートレンタル事業の展示では、年に4回、個人作品をダイハツ3店舗に展示した。それにより、一般の人に対して、施設または活動内容についての理解を深める事、作品の発信、作品を沢山の人に見てもらえる喜び、経済的対価を得る喜び等を得る事が出来た。個人作品から全体作品、行事の準備等を通じて、作る事の喜びや、作品を作る事により作者の自信にもつながる事、落ち着いて日中過ごせるようになる事が出来た。

《リサイクル》

- ・今年度の目標 缶の仕分け、缶つぶし、袋入れ、回収品運び等、利用者様全員が何らかの役割を持って作業に参加する様、作業内容を工夫する。回収先、納品先での挨拶等を大切にす。清掃活動を行い、地域とのつながりを大切にす。自然環境をきれいにする意識を持つ。利用者様1人1人に合わせて作業を考えて行き、楽しく作業が出来る様に支援できるよう作業ができる環境を職員が整備し支援する。
- ・実施場所 みゆき広場旧館前大屋根周辺・新館
- ・実施日と時間 月・水・金曜日／10:00～11:30
- ・目的 リサイクル物品を通じて地域社会につながっている意識づけを促す。リサイクル活動で限りある資源を大事にして自然環境にやさしい仕事をしていると意識づけを図る。
- ・内容 リサイクル物品を通じて地域社会につながっている意識づけを促す。リサイクル活動で限りある資源を大事にして自然環境にやさしい仕事をしていると意識づけを図る。
- ・全体の評価 資源回収は利用者みんな楽しみにしており回収先で挨拶を交わし資源品を手で回収車へ積み込んで持ち帰り、分別作業をして施設内の収集場所へ運んでいる。積極的に運ぶ姿が見られ自分の仕事だと意識を持って作業している。アルミ缶作業も自分の仕事だと意識して毎朝収集場所へ確認に行く姿も見られた。シュレッダー作業はハサミや自動や手動の機械が使用できる人は道具を使用して使えない人は手でちぎる作業をしており全員で作業をしている。回収品がない時には牛乳パックのラベル剥がしや、紙ちぎりをしたり、施設内の環境整備で掃除、草抜き、タンス整理、洗濯物を取り込んで畳む作業もしている。壊れた家電製品を分解して分別する作業もしている。適材適

所、全員で作業をしている。資源回収は緊急事態宣言があり、念のため2020年4月8日に作業を止めている。アルミ缶潰し作業は4月10日に止めている。緊急事態宣言発令中は回収を停止して新型コロナ感染を防止した。緊急事態宣言解除後は感染予防のため車で回収の時に荷室と座席の間にビニールシートで目張りをして感染防止をしたうえで手袋マスク出来る人が回収作業をしている。新型コロナ感染防止対策として石鹸での手洗い、アルコール消毒、個別スペースで蜜を避け、換気を徹底してきた。

<御協力団体名> *順不同敬称略

- ・今福内科・メニコンミル福山・日本年金機構福山年金事務所・住友林業
- ・三上治療院・かやのみ保育園・日栄産資(株) 駅家工場・藤井製瓦工業(株)
- ・(株)純・山栄建設(株)

《散歩》

- ・今年度の目標 体を動かし、歩くことで身体の機能維持と、精神安定につとめ健康に過ごす。外部の人と、挨拶などをかわすことなどにより社会性を身につける。山の景色などから季節を感じ、リフレッシュを図る。歩くことで運動不足を解消する。自然の中で遊び、心身のリフレッシュを図る。山登りでは坂道のあるウォーキングコースを歩き、景色を楽しみながら歩く。勾配のある道を歩くことで歩行の練習をすると共に肥満軽減をはかる。さまざまな景色・物に触れるなどして気持ちの開放をはかる。ドライブのみでなく、歩くことの楽しみを感じてもらいたい。
- ・実施場所 あんず公園、井原リフレッシュ公園、港町公園 みゆき広場近辺道路・みゆき広場屋内
- ・実施日と時間 火・木曜日/10:00~11:30 月・水・金曜日/13:00~14:30
- ・目的 歩行機能と体力の維持、増進、肥満軽減等をはかる。心身のリフレッシュと気分転換を図る。楽しみつつも、体力増進、機能維持、肥満軽減などを促す。山登りでは坂道を歩くことにより、脚の筋肉をつけるなど歩行の練習をする。散歩を通して生活習慣病を予防し、強い身体をつくり、病気に対する抵抗力をつけ、健康に過ごす。
- ・内容 各公園等まで施設車両で行き、公園内等のウォーキングコースを利用者の状況に配慮しながら歩く。また、みゆき広場周辺を散歩する事で周辺地域の住民との交流も図る。雨天の場合には、みゆき広場内でレクリエーションを行ったり、屋根のある場所に行き、歩いたり、室内にて体を動かし体力増進やリフレッシュを図る。夏場はプールへ入り、楽しく遊んで熱射病を防ぎながらも、運動不足を解消する。
- ・全体の評価 新型コロナ感染症拡大防止の観点から、活動内容を少々変更し行う。ウォーキングで利用する公園での、事業所外の人や物との接触を避けること、また、公園への移動車内の密を避ける等から、他者との接触が想定される公園等の利用や、密閉・密集・密接になり易い車での移動は極力避け、屋内でできる運動や、事業所近辺でのウォーキング等に活動内容を変更して行った。変更後しばらくは、利用者・職員共に戸惑いはあったようだが、屋内でのトレーニングマシンの整備や、屋外での安全確保の為の人員配置等のシミュレーションを繰り返し話し合いを行う等し、じきに定着した。今現在も検討を繰り返しその都度安全を確認しながら行っている。みゆき広場周辺の道路や、車の往來の少ない農道等を利用者の状況に配慮しながらウォーキングを行い、みゆき広場周辺

を散歩する事で、周辺地域の住民と挨拶を交わす等の交流も見られた。また、車が接近してきた場合等、道の端に寄る、道幅の広い所で止まって待つ等の交通マナーを学ぶ機会となった。雨天時や、暑さ寒さの厳しい気候時には、屋内で、サイクリングマシンやジョーバ等のマシントレーニングや、腹筋やスクワット・踏み台昇降等の筋トレを行い、ウォーキングだけでない運動を施し、体重減少が見られた利用者もいた。

《リラクゼーション》

- ・今年度の目標 PT と連携を取りながら、利用者に応じたメニューを行う。訓練を重ねることで本人が抱える身体的負担の軽減を図る。個人のペースに合わせ、細かく評価をしていくことで本人の訓練に対する意欲の向上を図る。
- ・実施場所 食堂
- ・実施日と時間 火・木・金曜日／10：00～11：30
- ・目的 気持ちをリラックスできる時間を提供する。障害ゆえの不自然な姿勢や過剰な動きによる筋肉の緊張を緩め、生活しやすい身体づくりをする。
- ・内容 ストレッチ、マッサージ、足浴等、気持ちを開放できるゆったりとした時間を設ける。機能維持・筋力維持・身体的負担軽減を目的とした機能訓練を行う。筋力維持・肥満軽減を目的とした筋トレを行う。生活場面で行う動作に必要な体の動きをその人それぞれにメニューを組み、身体を動かしていく。また、自転車やストレッチポールといった道具も使い、楽しんで体を動かせることを取り入れながら楽しんで体を動かしていく。
- ・全体の評価 本年度も、服部 PT と共に利用者それぞれの身体状況の変化などをその都度確認し、訓練の内容の見直しを重ねてきた。利用者担当職員からの体調面の報告等も踏まえ各利用者にとって必要とされる訓練を検討してきた。また御家族からの『家で出来る様になってもらいたい動き』に対しても服部 PT との相談の基、訓練のメニューに取り入れていくようにしており、御家族が期待される運動機能の向上を目指すことが出来ている。訓練メニューも多様に設定できた。2020 年度に入り、活動時間において、新型コロナ感染予防対策の為、昼食の準備に時間を費やすこととなり、午前の活動時間の短縮が余儀なくされている。11：00 頃から昼食準備。リラクゼーションは午前中食堂で行っており、すべての時間がこれにあたる。出来る限りすべての参加利用者の訓練メニューが終えられるように効率よく訓練を組むように取り組んできた。

《箱庭》

- ・今年度の目標 穏やかな時間を過ごして、リラックスにつなげる。利用者がもつ表現力を引き出す。
- ・実施場所 相談室
- ・実施日と時間 月・水曜日／10：00～11：30
- ・目的 穏やかな時間を過ごして、リラックスにつなげる。利用者がもつ表現力を引き出す。
- ・内容 みゆき広場の医務室を使用し、箱庭療法を行う。
- ・全体の評価 希望者に箱庭をしている。1 対 1 で対応している。1 日 1～2 人で、順番に行っている。一人一人に楽しみ方がある。砂を触る、好きなアイテムを並べる、童謡やメロディが鳴

るおもちゃやぬいぐるみで遊ぶ、絵本を読む、話をするなどそれぞれの楽しみ方があり、様々な感覚を使っている。感染予防のため、換気をし、適度な距離をとって座るようにしている。多くの利用者が箱庭の時間を良い表情で過ごすことができている。毎回同じことをして、飽きていると思われる利用者もいるが、部屋に来ることを拒否することはなく、部屋の中でゆっくり過ごして戻っている。順番が回ってくるのを楽しみにしている利用者もおり、有意義な時間を感じてくれていると思われる。

《生活》

- ・今年度の目標 意欲的に活動に取り組み、新しい技術の習得を目指し、協力して仕事を成し遂げる経験を積む。
- ・実施場所 みゆき広場敷地内、職員駐車場
- ・実施日と時間 水曜日／10：00～11：30
- ・目的 生活全般に関する活動を行い生活技術の習得を目指す。施設敷地内で行える活動を通して、仕事に対する喜びを感じる。地域に、関わるような活動を目指す。
- ・内容 洗車（施設車両）・草抜き（施設敷地内・職員駐車場）・洗濯・エアコンフィルター掃除・陶芸・衣替え・その他必要に応じて活動を行う（行事準備の手伝い、地域の方の家にチラシ配り）
- ・全体の評価 送迎車内の清掃やエアコンフィルターの清掃は定期的に行っているものの、その他の作業が草取りばかりになっていた。新型コロナの影響により、会議で話し合いながら何が出来るか、何が助かるかということを考えながら、他のカリキュラムへの応援もしつつ、洗濯もたたくことから始めたりと、試行錯誤の年だった。利用者の生活にも入れることができる内容も検討しつつ色々なカリキュラムの意見を取り入れて、柔軟に活動できるよう意識していく。

《ドライブクラブ》

- ・今年度の目標 道中や車中でも楽しめる、また到着地でも楽しめるような場所設定をし、休憩場所やトイレ、水分補給をスムーズに行えるように計画にしていく。行きたい場所は利用者の意見を取り入れながら、楽しんで参加でき、車中でも楽しく話ができる雰囲気作りを行っていく。運転には十分注意し、安全運転に徹する。出先で体験できる事があれば進んで参加する機会を提供できるようにする。
- ・実施場所 井原リフレッシュ公園・福山港・天神峡・あんず公園から鞆方面・ファミリーパーク・神辺の堂々公園・井原かかしコンテスト・さんわ道の駅・天神峡・竹ヶ端運動公園など
- ・実施日と時間 土曜日／10:00～11:30
- ・目的 外気浴を楽しむ。車窓からその季節それぞれの景色や風を感じ気持ちのリフレッシュを図る。
- ・内容 車で近隣地域をドライブし、行った先で散策する。
- ・全体の評価 2020年ドライブクラブはコロナ禍の中4月に緊急事態宣言が出た為、車に乗っての外出を自粛して、全体活動にして施設内でビデオ、リクエスト動画、カラオケ、行事の話

し合いや準備、ダンスで体を動かしたりしている。5月に緊急事態宣言が解除されたが引き続き外出は控え施設内活動をしていた。しかし利用者からドライブに行きたいとの声が聞かれ始めたことから利用者のリフレッシュを図る為、車内での三蜜を防ぐ為、車の台数を増やして人と人との距離の確保、車内の換気、マスクの着用、人の多い場所を避ける等のコロナ対策を講じて活動を再開する。目的の場所ではトイレ以外は車から降りず、水分補給も車内で行い人との接触を避ける工夫を取りながら車窓から景色を見ながらドライブを楽しんでもらっている。ドライブから帰ってからも手洗い、アルコール消毒の実施をしている。今後も新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、状況に応じて活動内容を考えて行く。

《お料理クラブ》

- ・今年度の目標 興味を持って、楽しく活動に取り組む。レシピや写真などで作業工程を確認し、作業に取り組む。みんなで作業を分担し、協力して1つの料理を完成させる。器具や火の取り扱いに注意が払えるようになり、料理のスキルを向上させる。爪や手洗いなど、衛生面への意識を持つ。
- ・実施場所 食堂
- ・実施日と時間 土曜日／10：00～11：30
- ・目的 料理の楽しさを知る。達成感、満足感を得る。感覚を刺激する。形の変化を味わう。
- ・内容 土曜日の昼食の小鉢一品やデザート作りをする。次回作る料理を考える。みゆき広場のガーデニングで収穫した野菜や果物を出来るだけ取り入れ、季節を感じられるメニューを作る。
- ・全体の評価 帽子、エプロン、マスク着用し、しっかり手洗いとしての調理としている。どの料理をつくるのか、どんな工程があるか、誰が担当するのかを話し合っ行って取り組んでいる。新型コロナ後は調理が難しいため、どうしたら調理が出来るかを話し合い、月に1回完全防備で取り組む運びとなった。衛生面が重要視される中、新しい取り組みとしてお料理クラブ中はフェイスシールドの着用を追加で必須とし、大半を職員主体で調理している。利用者は加熱前の調理（材料を混ぜる、切る）をこなしている。便利調理器具の導入で、多少作業工程が難しいものでも、全員が何らかの形で料理に参加が可能となっている。しかし今まで培ってきた経験から、全体的に作業工程が利用者に対して簡単なものであり、加熱できる料理を作るという限定的なメニューになりがちであるが、調理できる楽しさや、みんなからの楽しみにしているという声かけもあり張り切って取り組んでいる。

《スポーツクラブ》

- ・今年度の目標 運動やスポーツ、ゲームの楽しさを味わう。球技大会とスポーツ大会の出場者は、楽しんで参加する中でルールを理解を深め、入賞を目標に取り組む。
- ・実施場所 作業場1・井原リフレッシュ公園・近所の公園・河佐峡など
- ・実施日と時間 土曜日／10:00～11:30

- ・目的 健康維持増進を目的に、スポーツを通して楽しみながら体を動かす。また、運動をすることで体重の軽減につなげていく。
- ・内容 屋内で運動をしたり、戸外でのスポーツも取り入れたりしていく中で、楽しく体を動かし体力作りを行っていく。年齢の幅や利用者それぞれの運動能力の違いを考慮し、運動の内容を考えていく。また、ゲーム等のルールをできるだけ簡単に、わかりやすく工夫していく。
- ・全体の評価 各々の運動能力の違いを考慮して、無理なく体を動かし、楽しくゲームを行う事を取り組んできた。ゲームでは、フライングディスク、卓球、ボーリング等、ルールを理解する為にも、繰り返し同じゲームを行ってもらい、ルールの理解に努めてもらった。また、利用者の体力にも考慮してリラクゼーションを行い、心身ともにリラックス出来るよう取り組んだ。実際に体を動かすだけでなく、行った事がないスポーツを、動画を通じて観戦する中で、見聞を広げる事も行った。

【年間企画、参加行事】

2020. 4. 3 お花見行事（みゆき広場）

4. 19 第 33 回ふれあい広場（みゆき広場） 中止

東部地区親善球技大会 中止

5. 22 プチ球技大会（みゆき広場）

6. 26 デイキャンプ（みゆき広場）

東部地区親善スポーツ大会 中止

11. 26 秋のお楽しみ行事（みゆき広場）

みゆきフェスタ 中止

12. 18 年末感謝祭（みゆき広場）

2021. 1. 8 新年会（みゆき広場）

2. 2 節分（みゆき広場）

【健康管理】

日常生活に必要なバイタルチェック（体温・血圧・脈拍数）を毎日行っている。看護師は水曜と土曜以外の平日 AM9:00～PM12:00 に勤務しており、利用者や職員のバイタルチェックについて必要と思われる適切な措置を講じている。また、協力医療機関の連絡調整や、健康保持のために必要な支援を行っている。

○2020 年度健康診断

- ・日 時：2020 年 11 月 27 日（金）13：00 から
- ・場 所：みゆき場 本館 作業場 1
- ・実施人数：利用者 男子：20 名 女性：10 名
- ・実施機関：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・健診内容：・生活習慣の調査・既往歴・業務歴の調査・自覚及び他覚症状の検査・身長・体重
腹囲・BMI・理学的検査（診察）・血圧測定・尿検査（尿中糖及び蛋白及びウロビリ

の検査)・視力・聴力・胸部・X線撮影・心電図検査・血液検査(肝機能・脂質・糖尿病検査)・尿検査 ※健康診断時、無料(公費)

○2020年度職員健康診断

- ・日時: 11月5日(木)から11月29日(金) / 24名
- ・場所: 医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・実施人数: 職員 男性12名 女性12名
- ・実施機関: 医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・健診内容: ・生活習慣の調査・既往歴・業務歴の調査・自覚及び他覚症状の検査・身長・体重・腹囲・BMI・理学的検査(診察)・血圧測定・尿検査(尿中糖及び蛋白及びウロピリの検査)・視力・聴力・胸部X線撮影・心電図検査・血液検査(肝機能・脂質・糖尿病検査)・尿検査

○2020年インフルエンザ予防接種実施報告

- ・日時: 10月23日(金) 14:00から
- ・場所: みゆき広場 作業場1
- ・実施人数: 職員: 男性7名 女性4名(希望者のみ)
利用者: 男性17名 女性7名(希望者のみ) *10/30に1名、11/6に1名
- ・実施機関: 平井外科胃腸科

【お口の健康相談】

- ・実施機関 医療法人社団 義恵会 土屋歯科医院
- ・実施期間 2020年11月12日(木) / 11月13日(金)
- ・実施人数 9名(11/12) / 10名(11/13)

昨年に続きお口の健康相談を行っていただいている。新型コロナウイルス感染症の影響があり、実施人数は少なかった。感染防止措置を行いながら行うことができた。健康相談自体は、利用者も回数を重ねていることで不安なく参加することができている。

【各種会議の状況】

1) 職員会議

職員会議は原則第1土曜日の15:20~17:20の2時間で行っている。毎月の協議及び、周知すべきことを、職員会議において決めている。また、施設内研修もこの時間でおこなっている。ケア会議については、新型コロナウイルス感染症対策として職員会議内で行っていたが、データ化した資料の事前確認により会議時間が大幅に短縮されたが、職員会議の内容によっては、勤務時間内におえることができないこともあり、通常通り行うこととした。

2) ケア会議

毎日の連絡会議終了後、月に2回木曜日にケア会議を行っている。会議においては、利用者のモニタリングを行い、個別支援の見直しを行っている。会議において個別支援を変更する必要がある場合は、利用者並びに家族の同意を書面で得た後、支援内容を変更している。支援計画の終了時には最終評価を行い、面談で再アセスメントを行い、ご本人のニーズにあった個別支援計画を作成している。新型コロナウイルス感染症対策として、事前に検討事項を職員に周知し、職員会議の際にケア会議も一緒に行うよ

うにしていたが、資料のデータ化による事前確認と検討事項の周知により、会議時間が大幅に短縮した。

3) 連絡会議

毎日午後5時開催。翌日の予定などの申し送り事項を中心に周知する会議として位置づけを行っている。利用者の状態の把握等については、検討事項のみ時間をとって話し合いを行っているが、その他の事項については、確認事項として各自確認できるよう職員グループメールにより「様子報告」として確認できる状態にしている他、Google スプレッドシートを用いて、記録時間と会議時間の短縮を図りつつ職員全員で情報共有できるようにしている。

4) 給食会議

基本的には業務委託業者による加工済み食材を過熱して提供している。汁、ご飯については自己調理を行っている。利用者のリクエストを取り入れるため、毎月第3水曜日の誕生日会メニューについては調理員と施設長と誕生月の利用者で決めており、みゆき広場で自己調理を行っている。また、毎月第1土曜日をリクエストメニューの日として位置づけ、全員で主菜等を決めている。利用者が選びやすいように、主菜の写真を作り投票で選んでもらうなど工夫をしている。ここ数年は支援学校卒業後の利用者が増え、ボリュームのあるおかずの要望に応える為、2019年2月よりゆめサポートバク様の宅配弁当おかずのみを取り入れた。また、リクエストメニューではない土曜日にはカレー曜日として月に1回程度カレーを食していただいている。お弁当ではカレーがないため利用者皆様に大変喜んでいただいている。

5) 勉強会

毎月土曜通所日の14:00から15:00まで非常勤職員と正職員とで、支援について勉強してもらっている。利用者支援内容を共有することで利用者自身が困らないようにしている。非常勤職員からの提案も聴くことができ、職員のスキルアップや、より良い支援に繋がっている。

【防災訓練】

○第1回火災避難訓練(合同訓練/みゆき広場) 令和2年10月29日(木) 10:00より開催

○第2回火災避難訓練(合同訓練/みゆき広場) 令和3年3月24日(水) 13:00より開催

*火災を想定した訓練を年2回行い、防災意識を身に付ける機会を得る。

○第1回訓練(津波避難訓練) 令和2年12月5日(土) 10:00より開催

○第2回訓練(津波避難訓練) 令和3年3月6日(土) 10:00より開催

*津波発生を想定した訓練を年2回行っている。この訓練から様々な問題点を洗い出し、実際の洪水発生時の利用者の無事に備えるマニュアルを見直した。

【職員研修、出張、視察等の状況】

1) 職員研修・各種大会等への参加等の状況

2020.6.4 2020年度広島県東部地区親善スポーツ大会担当ブロック 一れつ会本部会議室

7.7 御幸小学校2年生ゲストティーチャー 御幸小学校

6.25 令和2年度広島県相談支援従事者初任者研修(前半)

~26

尾道さつき会オンライン講義

- 7.17 虐待防止とクレーム対応広島県障害者相談支援事業連絡協議会 広島県障害者福祉サービス適正運営・振興協議会 オンライン講義
- 7.27 2020年度第1回相談支援業務関係職員研修会「発達障がいの理解と、本人とのより良い関係づくり」 福山すこやかセンター
- 7.31 2020年度第1回ブロック会議（北部①）福山市地域福祉貢献活動協議会
かなべ市民交流センター
- 7.12・26 強度行動障害支援者養成研修 東広島商工会議所 文化ホール
- 8.7 令和2年度防災安全研修（通所B） 広島市総合防災センター
- 8.21 障害福祉サービス事業所のICTを活用した業務改善研修 広島県オンライン講義
- 8.25 2020年度第2回相談支援業務職員研修会「地域福祉活動ボランティア活動の実践報告」 福山すこやかセンター
- 9.10 令和2年度広島県相談支援従事者初任者研修（後半1日目、2日目）
～11 尾道さつき会オンライン講義
- 9.17 広島県知的障害者福祉協会福山府中圏域会議 リモート会議
- 9.23 給食施設（職域別）研修 「嚥下調整食の標準化について」
福山すこやかセンター
- 10.13 令和2年度広島県相談支援従事者初任者研修（後半3日目）
尾道さつき会 オンライン講義
- 11.19 令和2年度広島県相談支援従事者初任者研修（後半4日目、5日目）
～20 尾道さつき会 オンライン講義
- 11.26 社会福祉法人会計実務研修 福山すこやかセンター
- 11.27 令和2年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修 共通講義
尾道さつき会 オンライン講義
- 12.17 令和2年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修
～18 尾道さつき会 オンライン講義
- 2021.1.9 アートサポート会議 NPO法人ひゅーるぽん オンライン研修
- 1.21 令和2年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修
～18 尾道さつき会 オンライン講義
- 2.17 広島県障害者虐待防止・権利擁護研修 広島県健康福祉局障害支援課
オンライン研修
- 3.11 令和2年度広島県知的障害者福祉協会第2回総会 オンライン参加
- 3.15 2020年度福山市地域福祉貢献活動協議会「くらしの相談窓口」担当者研修
ウェブ研修
- 3.18 ウェブセミナー「高齢者施設等における感染やクラスター発生時の対応」厚生労働省
新型コロナウイルス感染症対策推進本部地域支援班 ウェブセミナー受講
- 3.25 2021年度広島県東部地区親善スポーツ大会ブロック会議 Google meet 会議

【ボランティアの状況】

ボランティアは団体及び個人とも受け入れなし。

【施設実習等の状況】

1) 実習生等来訪

福山平成大学 実習 1名 (8/17～9/16)

2) 旧館利用 団体 3 (9回)

3) 理学療法 毎週金曜日 9:30～11:30 (49回)

理学療法士が利用者の体の状態を確認し、機能訓練プログラムを職員と相談し決定。経過を観察しプログラムの変更等を行った。

【家族との懇談会】

コロナ禍で懇談会は開催していない。ご家族への必要情報は文章や電話でお知らせしている。